

会員数	33,817	(前月比) +245
郵送	8,632	(前月比) + 40
手配り	24,816	(前月比) +208
協同基金到達額	2,103,938,000円(11/30現在) [前月比 21,128,000減]	
協同基金出資者数	11,377名(11/30現在)	
いのちを守る助け合い募金額	7,789円(11/1~30)	



発行
健康友の会 みみはら
本部事務局組織部
機関紙編集委員会
〒590-0824
堺市堺区老松町2丁58-1
Tel.072-244-8061
Fax.072-244-7860

1部30円



出席
社会医療法人同仁会
理事長 齊藤和則
健康友の会みみはら
会長 森島嘉之
副会長 江戸道子(司会)

質を高めて 健康づくりにとりくもう

新春対談

耳原総合病院の建設が本格化し14階建ての全容が出来上がる年を迎え、健康友の会みみはらの役割などについて話をいただきました。



齊藤和則理事長

江戸(司会) 以前、保健講座を担当していただいた緒方浩美医師から野菜摂取のことで、「一定の所得ある家庭でない」と十分な野菜を摂れなくなっている現状があり、友の会でも取り上げてほしい」と話されたことがありました。健康づくりをすすめる私たちの運動について伺います。

森島 健康づくり・まちづくりを友の会あげてすすめる点で大切なことは、質を高めることです。友の会の出費では、予防接種料金が安くなるようなことがきっかけになるケースが多く、また友の会だから優先的に診てほしいという意識も一部に根強く残っています。耳原の応援団から抜けないといけません。

知らせる活動重視して

齊藤 40歳以下で糖尿病を発症した患者の調査を民医連ですすめています。病因のある方もおられますが多くの肥満で背景として、不規則な生活を強いられる方、仕事や賃金に問題があり安定的に三食摂れる環境にない方が増えていきます。病気になるまでではない人がなっている。



森島嘉之会長



司会・江戸道子副会長

森島 「耳原の医師が語るがん健診」というDVDがあります。班会などで利用しながら、耳原が追求している医療・介護も含めて知らせたいこと、広報活動が大切ではないでしょうか。

一方、会員から出されるのは交通アクセスの面。「あんな不便な所にはよういかん」ということを耳にします。病院としては地域連携に取り組まれていますね。
齊藤 送迎バスを運行したりと利便性を高める工夫はしているのですが、ご不便をおかけしているところでもあります。
大きく言えばまちづくりの話につながりますが、法人内連携の強化はもちろんです、身近なところでは地元の開業医さんや民医連加盟の診療所群との連携を強めたいといけません。診療圏という点では、半径を広げていくのではなくこれからはサテライト型で、かかりやすさを追求することが必要だと考えています。

新春のつどい

2014年1月18日(土)
12時から14時45分
堺市民会館 4F大集会室

聴診器

健康・医療格差、雇用・賃金格差、教育・学歴格差など今日日本にはたくさん「格差」がある。一方で格差は各人のがんばりの差との言い方がなされていらないだろうか。生活保護受給問題の対談で「私は自力で大蔵省に入りましたよ。問題は自力で頑張った人と頑張らなかつた人に差がつかない」と発言をしたのはある与党の国会議員である▼人は一人ひとり皆違う。その違いが生きて行く中で有利不利の差にならないように、平等になるように多くの人が苦心して公的医療保険、年金、生活保護を含めた社会保障、累進課税、教育の機会均等など制度の整備をしてきた。しかし、逆に格差を助長するのがTPPによる私的保険の参入、労働者派遣法改定での非正規労働者増、そして全国統一テストなど競争教育といった政府が進めているものである。あえて違いが出るよう仕向け強調することで競争を煽り国民同士の絆を切ってしまう▼日本国憲法第十二条は憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によつて保持しなければならぬ、という。私たちが自由、平等、平和、健康で生きるために、格差が広がらないようとして政治が格差を助長することはないよう、不断の努力をしよう。(和)